

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成30年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会
2 開催日時	平成30年5月28日(月) 午後1時30分から
3 開催場所	市役所3階 301会議室
4 会議の概要	① 平成30年度生活安全関連の取組について ② 河内長野市の犯罪発生状況について ③ 第13回安全・安心まちづくり市民大会について ④ その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 危機管理課 (内線 774)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 平成30年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会 議事録

日 時 平成30年5月28日(月)  
午後13時30分から14時40分  
場 所 河内長野市役所 301会議室

### 1. 開 会

### 2. 市長挨拶

河内長野市は、昨年1年間の刑法犯罪認知件数が、大阪府下33市の中で1番目に少ないという結果になった。関係団体の取り組みの賜物でお礼を申し上げる。遡ると、平成25年は1位、平成26年は2位、平成27年は1位、平成28年は3位と推移している。今年も大阪府下で1番犯罪の少ない市を目指したいと思うので、協力をお願いしたい。

### 3. 委嘱状交付

・河内長野警察署長 高野 敏弘 氏  
任期は前任者の残任期間、河内長野署長については前任者の磯野副会長の後任として副会長の職を継承する。→承認される

### 4. 案 件

#### ①平成30年度生活安全関連の取組

事務局から資料に基づき説明

・防犯、防災、防火、交通安全、青少年育成、福祉、人権、消費生活の分野ごとに、平成30年度に各関係課・団体が実施する生活安全関連の主要施策について、目的や事業内容を説明。

→質疑応答

(委員) 青パトは、市役所として何台運用しているのか？

(事務局) 市の青パトとして常時利用しているものが1台ある。あとは、各地域において、加賀田地区、南花台地区、美加の台地区でそれぞれ1台所有されていると聞いている。

(委員) 防犯灯LED化工事について、平成26年から5か年計画で市内に約11,400ある防犯灯をLED化する計画であり、平成30年度が最終年度となるが、資料の数字を見ると、辻褄が合わない部分があるが、本当に平成30年度でLED化が完了するのか？

(事務局) 自主的にLEDに替えていたとか、府営住宅で先に交換していたという例があることが原因で、数字上、各年度を積み上げても11,400灯に至らないが、市として

は、平成30年度にすべての防犯灯をLED化する方針であると、自治協働課から聞いている。

## ②河内長野市の犯罪発生状況

刑法犯の認知件数等について 河内長野警察署 生活安全課 清水課長より

今年に入ってから犯罪発生状況について、今年の1月～4月と前年の同期間の犯罪発生状況を比較すると、大阪府全体で減少傾向となっている。河内長野市では、154件で前年比-43件となっており、同じく減少傾向である。4月現在、河内長野市は府内33市のなかで1番少なく、2位は交野市と枚方市の182件、4位は箕面市で183件、5位は阪南市の204件となっている。

特殊詐欺につきましては、大阪府全体で121件と、件数では前年比-61件ながら、被害額は3億3626万円で前年比-1768万円と、あまり減少していない。特殊詐欺の中でも、オレオレ詐欺が件数・被害額とも増加している。河内長野市では、平成28年が24件、平成29年が9件、今年は4月までで2件だが、未遂が70件以上あることから、油断できない状況だと考えている。

→質疑応答

(委員) 泥棒について、空き巣なら金品を取られるだけだが、家に誰か居るときに入てこられると、危害を加えられることもあり得るので怖い。現在、パトカーが町の中を結構走ってくれているので抑止力になっているだろうし、もう少し台数を増やすなどすれば安心できるので、今後も継続してほしい。

(高野警察署長) 侵入窃盗については、家の中に誰もいないことを確認してから入ってくるケースが非常に多く、家の中でテレビやラジオの音が鳴っていたり、人が動いていると、なかなか入ってこないのが現実。また、警察署では、河内長野市の犯罪発生状況を分析して、時間・人材・場所のシフトを考えてパトロールを行っている。これから夏になると、夜に公園などに少年が集まるのがよくあるので、そういった場所にパトカーを少し停めるとか、少年補導を含めた警戒プロジェクトを組むなど、集中的に対策を取ろうと考えているので、ご理解・ご協力をお願いしたい。

## ③第13回安全・安心まちづくり市民大会について 社会福祉協議会 小林氏

- ・開催日時 平成30年11月25日(日) 午前10時～12時
- ・場所 市民交流センター(キックス)4階イベントホール
- ・主催 河内長野市生活安全推進協議会

資料内容を説明

→特に質疑はなく、了承された。

#### ④その他

ア. 台風第21号・第22号による被害の復旧状況について

星野危機管理監から、市内の被害復旧状況について説明を行った。

→特に質疑はなく、了承された。

#### イ. 意見交換

(委員) 現在、避難行動要支援者名簿を自治会や自主防災組織、民生委員等で保有しているが、災害時だけに限らず防犯など他の活動に使えないものだろうか。もっとも、名簿には多くの個人情報が含まれているので、難しい面があるのは承知している。ただ、自分たちのまちは自分たちで守るという活動をしていきたいと考えている。

(島田市長) 人口構成区分とって、全人口に占める15歳未満の割合は少子化率、15歳以上65歳未満の割合は生産人口比率、65歳以上の割合は高齢化率と分けた場合、河内長野市は、府内33市の中で、少子化率と生産人口比率が最少、高齢化率が最高となっている。これを改善するために、子育て世代に来ていただきたいと考えている。時代を追って子育て世代のニーズは変化している。20年から40年くらい前には、大阪市内の方では公害などが社会問題となり、きれいな環境を求めて、またローンを組みば一戸建ての家が買えるということで、子育て世代がこぞって来るといふまちづくりをしていた。今の子育て世代は、教育のことや安全安心の面を気にされるので、教育にも取り組んでいくが、大阪府内で犯罪発生率が最少で安全安心な市というのは、もう一つの大きな柱になると思う。われわれ市民が安全に暮らせるということのほかにも、市外から子育て世代に来てもらうための希望を繋ぐためにも、犯罪発生率最少ということを継続したいと思うので、地域の方々や警察署にも、ご支援・ご協力をお願いしたい。

(委員) 河内長野市の少子高齢化は今に始まったことではなくて、10年くらい前から、府内の他市と比較すると子どもの数が少ないなど前兆があった。また、大阪府内で一番犯罪が少ない市という事実を、市民で知らない人が多い。犯罪が少ない安全安心なまちだということがもっと知られるようになれば、よそから河内長野市に来てくれる可能性はあると思うので、啓発を充分にやってほしい。

(島田市長) 確かに情報発信が充分でなかったところがあると思う。今、ささやかながら市庁舎に横断幕や懸垂幕を掲げさせてもらっているが、もちろんこれでは不十分。みなさまにユニークな取り組みをしていただければ、メディアにも取り上げてもらえるだろうし、市としてもいろいろ情報を発信していく。

以上

## 平成30年度 第1回河内長野市生活安全推進協議会 次第

日 時 平成30年5月28日（月）  
午後1時30分から

場 所 河内長野市役所 301会議室

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 委嘱状交付

4. 案 件

① 平成30年度生活安全関連の取組について

② 河内長野市の犯罪発生状況について

③ 第13回安全・安心まちづくり市民大会について

④ その他

5. 閉 会